

振り返りシートの解答と解説

1	④・⑤	2	②・⑤	3	①・②	4	①・②	5	③・⑤
---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----

★問題の文章の中で、解答が「×」となるものについて解説しています。

1. 国内における結核の状況と BCG 接種の目的と効果について正しいものを 2 つ選んで下さい。

- × ① 日本は 2021 年以降、結核罹患率が人口 10 万人対 10 以上の中蔓延国である。
☞2021 年以降、我が国の結核罹患率は 10 未満に低下しており低蔓延国である
- × ② 2023 年の大阪市の結核罹患率は全国の結核罹患率の約 5 倍である。
☞2020 年以降、大阪市の結核罹患率は全国の約 2 倍
- × ③ BCG 接種を適切に実施すれば効果は一生持続する。
☞接種効果は 10～15 年持続すると言われている

2. BCG の定期予防接種について正しいものを 2 つ選んで下さい。

- × ① 定期予防接種の期間は、生後 3 か月から 1 年に至るまでの間である。
☞生後 1 年に至るまでの間
- × ③ 法令に定める特別な事情があれば、当該特別の事情がなくなった日から起算して 2 年間、例えば 3 歳でその事情がなくなれば 5 歳未満まで、定期予防接種として実施できる。
☞特別な事情がなくなってから 2 年、ただし 4 歳の誕生日の前日まで接種可能
- × ④ 接種後に瘢痕が認められなければ、追加の接種を実施することができる。
☞予防接種法実施規則により BCG 接種は管針法による 1 回接種と定められている

3. BCG 懸濁液の調整方法について正しいものを 2 つ選んで下さい。【BCG ホームページの動画や資料】

- × ③ 生理食塩液をワクチンアンプルに注入したら、強く攪拌して均等な BCG 懸濁液を作る。
☞2～3 分静置のうえ、静かにアンプルを振って攪拌する
- × ④ BCG 懸濁液をスポイトに吸うときは、泡立てるように空気を入れて、再び均等になるようにする。
☞できるだけ気泡が混ざらないようにする
- × ⑤ 別売のスポイトと管針を用いたら、1 アンプルの BCG 懸濁液を複数の対象者に使用することができる。
☞1 アンプルの BCG 懸濁液は 1 人分のため、複数の対象者への接種を行わない

4. BCG 接種の方法について正しいものを 2 つ選んで下さい。

- × ③ 梅雨時で湿度の高く接種部位が乾燥しにくい場合には、ドライヤーで乾燥させればよい。
☞ドライヤーで乾燥させるのではなく自然乾燥する
- × ④ 保護者が希望すれば、臀部や足底にも接種することができる。
☞予防接種法実施規則により、接種部位は「上腕外側のほぼ中央部」と定められている
- × ⑤ 湿疹等で適切な接種皮膚面がない時は、0.1mL を皮下に注射する。
☞皮膚の状態の良い方に管針法にて接種する

5. コッホ現象とその対応について正しいものを 2 つ選んで下さい。

- × ① コッホ現象とは、接種の押圧が強すぎた場合に、接種部位に強い反応が起こることである。
☞抗酸菌既感染者に BCG 接種することで接種後 10 日以内に起こる接種局所の反応
- × ② コッホ現象を疑う場合は、まず最寄りの保健所に相談するよう保護者に説明しておく。
☞保護者には BCG 接種を実施した医療機関に相談するよう説明する
- × ④ コッホ現象事例報告書は、保護者の同意が得られなければ、提出しなくてもよい
☞保護者の同意が得られない場合は、保護者同意欄を空白のまま個人が特定できる情報を記載せずに提出する